

山背古道を行く (第57回くらわん会 2001/03/06)

絶好の春日和に恵まれ125名が参加した例会で、新田辺から山城大橋を渡り、青谷梅林、鴻ノ巣山と木津から城陽に続く山背（やましろ）古道の一部を歩いた。

春爛漫の木津川を渡り、JR山城青谷駅近くの古い造り酒屋、城陽酒造に立ちより見学する。山背古道の田圃道をのんびりと登ってゆくと青谷梅林があった。

大阪城公園の梅は既に満開の情報、京都一の規模を誇り、鎌倉末期から歌にも詠まれている青谷梅林に期待したが、未だ3分咲きだった。また梅林のすぐ隣には大規模な開発で、山肌が大きく削られて無惨な姿を現し、やや興ざめの感もあったが、暖かな日射しが心を温めてくれた。

のどかな城陽の田園地帯をJR奈良線の長池駅に向って歩く、周囲には春の花々が咲き競っていた。駅の手前からガードを潜って丘になっている新興住宅街を登る。突然ぽっかりと住宅街のど真ん中に、縄文の遺跡「森山遺跡」がある。

森山遺跡は、木津川を望む丘の上に営まれた縄文時代後期（約4000年前）の複合遺跡で、六棟の住居跡、縄文土器、石器などが出土し、公園になっている。

住宅の裏から野外活動センターに向かう。竹藪の奥に、青少年野外活動センター「友愛の丘」があり、キャンプ場や研修宿泊施設が完備している。

一休さんの銅像がある集合場所の近鉄、新田辺駅前



木津川にかかる真新しい山城大橋



木津川河原の木々も花満開で春模様になっていた



鎌倉末期から歌にも詠まれている京都随一の梅林、春の日射しが心地よい青谷梅林で昼食休憩を摂る



JR山城青谷駅近くに古い造り酒屋、城陽酒造があった



住宅街の中に見つかった縄文時代後期(四千年前)の森山遺跡

山を下りて広い道路を少し行くと、山背古道の北端にある鴻ノ巣山運動公園にでる。この施設は素晴らしい施設で、家族連れで憩うにはもってこいの広さと美しさだ。

また鴻ノ巣山の尾根から見る城陽市街、山代盆地から木津川、淀川のの展望は一見の価値あった。あいにく今日は

春霞が漂って遠くの山々は良く見えなかった。展望台から水度(みと)神社への尾根道の下りも、気持ちの良い林間の散歩道で快適な行程だった。

途中の長池駅、などでも一字解散したが、最後まで歩き通したメンバーには、12km近い行程となった。JR 奈良線の城陽駅、近鉄寺田駅までたどり着いた頃には、さすがに足が棒の陽になっていた。

富田朝己記



青少年野外活動センター「友愛の丘」案内板の前でくつろぐ世話役の長川さん



広大な施設、鴻ノ巣山運動公園に着く

運動公園には巨大なアスレチックジムなど施設も充実

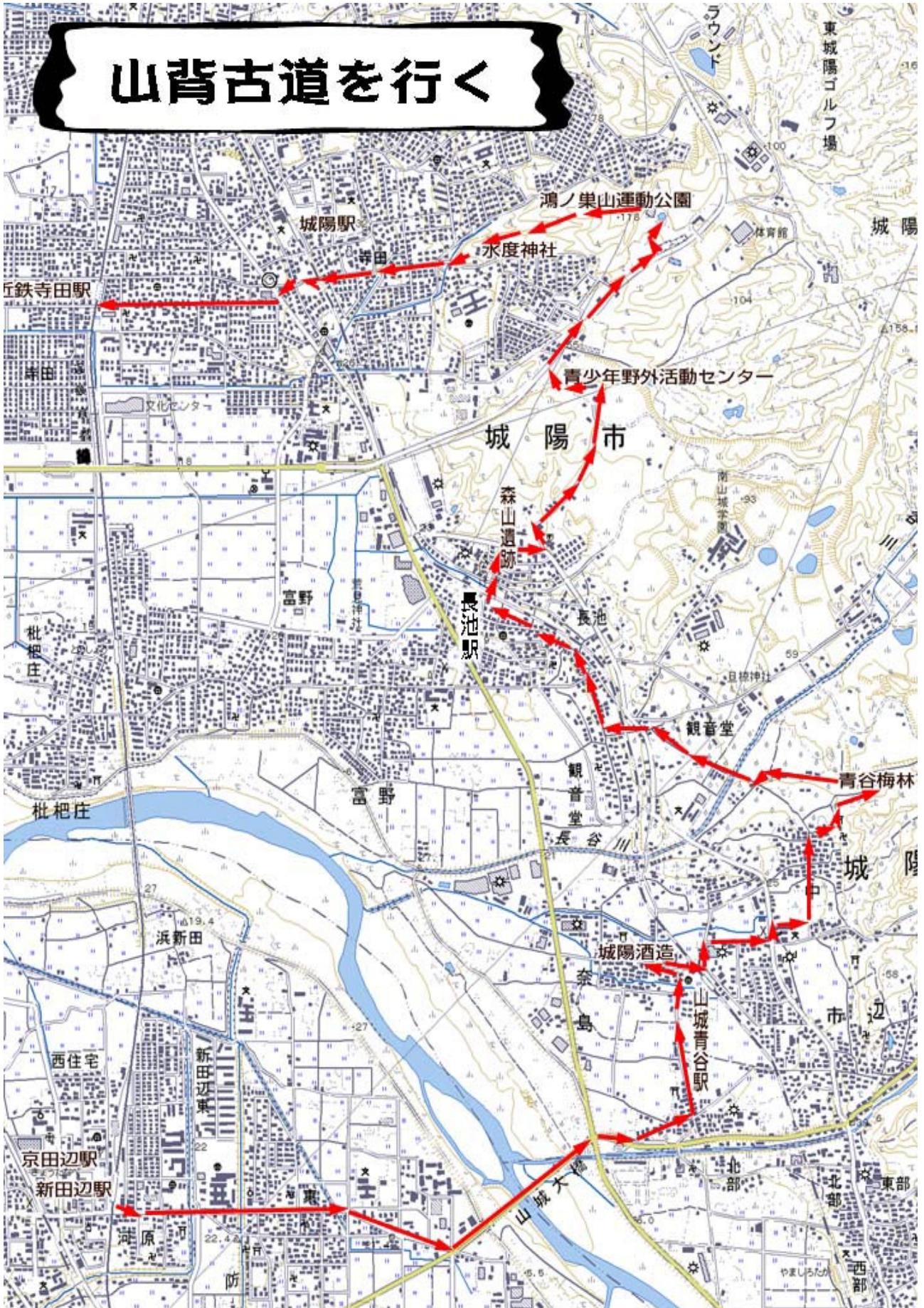


鴻ノ巣山展望台から尾根道の下りは疲れた足に心地よい

平安時代の文献にもある水度神社、檜皮葺、千鳥破風の優美な本殿



山背古道を行く



<行程>

近鉄新田辺駅⇒山城大橋⇒城陽酒造⇒青谷梅林⇒森山遺跡⇒青少年野外活動センター⇒
鴻ノ巣山運動公園⇒水度神社⇒近鉄寺田駅 11.5km 2001年3月6日 125名参加